

●一般口頭発表 A-1

3月9日（第1日目）10：30-11：20 場所：第1会場（E201）

座長 長野 真弓（福岡女子大学国際文理学部）

- A-1-1
内藤 奏（電気通信大学）
健康増進を目的とした運動実践支援システムの構築
- A-1-2
瀑布川 竜次（電気通信大学）
高齢者における二重課題運動時の巧緻性と視覚情報の関連
- A-1-3
樋口 慶亮（佐賀市健康運動センター，株式会社健康科学研究所）
健康づくり支援現場における運動適応量の実態とその影響因子
- A-1-4
伊藤 祐希（同志社大学スポーツ健康科学部）
2ステップテストの成績は健康関連体力を反映する
- A-1-5
大島 秀武（流通科学大学人間社会学部）
高齢者における日常生活での階段利用と生活体力との関係

●一般口頭発表 A-2

3月9日（第1日目）10：30-11：20 場所：第2会場（E202）

座長 高柳 茂美（九州大学）

- A-2-1
乾 明成（青森県弘前保健所，弘前大学大学院医学研究科）
特定健診参加者における糖尿病（発症原因）の知識と背景因子
—未来を変える健康意識調査—
- A-2-2
星野 秀彰（電気通信大学）
特定健診データによる糖尿病患者の医療費推定モデルの構築
- A-2-3
原野 由美（九州大学大学院医学系学府 医療経営・管理学専攻）
後期高齢者への後発品処方に関する要因分析
- A-2-4
盛島 加菜（琉球大学大学院教育学研究科保健体育専修）
低体温と月経痛の重症度との関連性
- A-2-5
八木 香里（九州大学大学院人間環境学府）
男性勤労者の全身持久力と身体活動量の組み合わせと内臓脂肪型肥満との関連

～TMCPAF スタディ*～

*Toyota Motor Corporation Physical Activity and Fitness Study

●一般口頭発表 A-3

3月9日（第1日目）17:20-18:10 場所：第2会場（E202）

座長 山津 幸司（佐賀大学教育学部）

- A-3-1
重松 良祐 （三重大学教育学部）
大学までのスポーツ経験とスポーツ傷害
- A-3-2
神藤 隆志 （公益財団法人 明治安田厚生事業団 体力医学研究所）
男子高校生におけるスポーツ実践とストレス対処力，気分の関連性
～学校サッカー部とJリーグユースチームに着目して～
- A-3-3
梶谷 康介 （九州大学キャンパスライフ健康支援センター）
大学生向けメンタルヘルスアプリの開発および実証研究～プロトタイプアプリによる予備研究～
- A-3-4
杉浦 雄策 （明海大学不動産学部）
大学入学初期における健康・運動支援アプリケーション活用が身体活動に与える影響
- A-3-5
樋口 倫子 （明海大学外国語学部）
入学初期の女子大学生の身体活動と健康・運動支援アプリケーション活用に関する調査

●一般口頭発表 B-1

3月10日（第2日目）9:00-9:50 場所：第1会場（E201）

座長 岸本 裕歩（九州大学基幹教育院）

- B-1-1
押田 夏海 （筑波大学医学医療系）
長期的3次元加速度トレーニングによる非アルコール性脂肪性肝疾患の病態改善効果について
- B-1-2
山崎 直輝 （電気通信大学）
運動介入時における2種類の動機づけに基づいたサポートが運動継続に及ぼす影響
—内発的および外発的動機づけ支援の比較—
- B-1-3
田村 修 （株式会社健康科学研究所）
連鎖的流布により住民の健康意識向上を図った健康支援事業の取り組み
～質問紙調査からみた事業の成果～
- B-1-4

若葉 京良 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)

減量後の体重維持に寄与する生活パターンの探索

● B-1-5

辻本 健彦 (島根大学人間科学部)

行動変容理論を活用した低頻度開催型運動プログラムの長期的効果

●一般口頭発表 B-2

3月10日(第2日目) 9:00-9:50 場所: 第2会場 (E202)

座長 堀江 淳 (京都橘大学健康科学部)

● B-2-1

阿波 邦彦 (大和大学保健医療学部, 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究科)

呼吸器外科術後1か月時に体の痛みを訴える肺がんサバイバーは心肺機能が低下している

● B-2-2

岩下 篤司 (大和大学保健医療学部)

四関節に対する人工関節置換術後、杖歩行が可能となったチームアプローチについて

● B-2-3

小谷 将太 (京都橘大学大学院健康科学研究科, 京都民医連第二中央病院リハビリテーション部)

外来呼吸リハビリテーションが著効した不安症状の強い慢性閉塞性肺疾患患者の二症例

● B-2-4

片山 靖富 (皇學館大学教育学部)

運動習慣を定着・維持することができた運動教室の症例報告

● B-2-5

竹林 正樹 (青森県産業技術センター, 青森県立保健大学院)

食環境整備マーケティングにおける落とし穴と、ナッジを用いた改善策

●一般ポスター発表 P-1

3月9日（第1日目）17:30-18:10 場所：ポスター会場（ホワイエ）

座長 久野 一恵（西九州大学）

● P-1-1

崎田 正博 （京都橘大学健康科学部）

ラット高齢期低強度運動による末梢神経の修復・再生に対する促進効果

~血清と末梢神経組織の脳由来神経栄養因子（BDNF）・BDNF受容体（NTRK2）発現量解析に着目して~

● P-1-2

福島 稜規 （電気通信大学）

非肥満2型糖尿病患者における高脂肪食摂取後の運動が食欲に及ぼす影響

● P-1-3

小池 温子 （東京家政大学家政学部栄養学科）

食育イベント体験を通じた食への関心の変化に関する予備調査

● P-1-4

沼尾 成晴 （京都薬科大学）

慢性期心疾患患者におけるアディポカイン、マイオカインと動脈硬化性疾患危険因子との関連

● P-1-5

橋本 寛生 （筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻）

肥満者に対する減量介入とその後の体重維持期間における慢性炎症の変化

座長 大河原 一憲（電気通信大学）

● P-1-6

弓岡 まみ （大阪人間科学大学人間科学部理学療法学科）

女性高齢者の浮き趾と身体機能との関係

● P-1-7

金 泰浩 （筑波大学大学院人間総合科学研究科）

慢性膝・腰痛を有する高齢者における長期間な運動実践の効果

—痛み・体力・身体活動量に及ぼす影響—

● P-1-8

安彦 鉄平 （京都橘大学健康科学部理学療法学科）

腰痛者および腰痛既往者に向けた不良姿勢に対する介入効果の検証

● P-1-9

安彦 鉄平 （京都橘大学健康科学部理学療法学科）

腰痛を訴える地域在住高齢者への身体活動量増加を目的とした介入効果の検証

● P-1-10

森 耕平 （関西福祉科学大学保健医療学部、京都橘大学大学院健康科学研究科）

地域在住高齢者におけるプレサルコペニアの身体・認知・心理機能特性

座長 鷺尾 昌一（聖マリア学院大学）

- P-1-11
秋山 恵美子（聖隷クリストファー大学）
介護福祉士養成校学生における健康関連 QOL（SF-8）と心理的ストレス反応尺度との関係に関する調査研究
- P-1-12
王 麗華（国際医療福祉大学）
経穴(ツボ)刺激を用いた身体痛みへのセルフケアの実施可能性
- P-1-13
加納 舞（明治国際医療大学大学院）
介護職員の痛みとセルフケアにおける実態調査
- P-1-14
平山 香代子（亀田医療大学）
在宅療養における痛みのケアに関する文献検討
- P-1-15
鈴木 秀樹（東北文化学園大学）
介護職員を対象とした腰痛に関する研究動向
—離職防止へ向けたアプローチを国内文献から探る—

一般ポスター発表 P-2

3月10日（第2日目）14：40-15：20 場所：ポスター会場（ホワイエ）

座長 谷原 真一（帝京大学）

- P-2-1
廣川 聖子（岡山県立大学大学院保健福祉学研究科）
離島地域在住の高齢女性における尿失禁有訴者の特性ならびに高次生活機能との関連
- P-2-2
佐藤 文音（筑波大学大学院 体育学科学専攻）
精神科入院患者を対象としたダンスプログラムにおける作業療法士の体験
—コミュニケーション、他者理解に着目した検討—
- P-2-3
仁位 百雲子（久留米大学大学院心理学研究科）
就労者の「挑戦し、困難を乗り越える力」のクラスター分析による類型化
- P-2-4
山廣 知美（久留米大学大学院心理学研究科）
就労者の「挑戦し、困難を乗り越える力」尺度開発に向けての予備研究
- P-2-5
山中 恵里香（首都大学東京大学院 人間健康科学研究科）
ダウン症がある小学生の日常生活における身体活動量の評価

座長 馬場園 明 (九州大学)

- P-2-6
幸田 仁志 (京都橘大学 健康科学部理学療法学科)
地域高齢者の最速歩行速度と下肢筋力の非対称性との関係について
- P-2-7
内藤 紘一 (京都橘大学)
活動性の高い地域在住女性高齢者のプレフレイルの出現率と関連因子の検討
- P-2-8
鄭 松伊 (国立長寿医療研究センター)
介護予防教室参加者の運動継続に向けた郵送支援の有益性
—2年間の追跡結果—
- P-2-9
嶋田 純也 (筑波大学大学院グローバル教育院)
離島在住高齢女性を対象とするサルコペニア調査からみえてきた判定基準の課題
- P-2-10
Sanmei Chen (Xiangya School of Nursing, Central South University; Faculty of Socio-Environmental Studies, Fukuoka Institute of Technology)
Physical frailty phenotype and risk of functional disability in community-dwelling older adults: a prospective study

座長 下田 妙子 (奈良女子大学)

- P-2-11
堀 紀子 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)
年齢と介護度における居宅介護サービス利用状況
- P-2-12
竹原 タカシ (株式会社アクアバンク)
水素吸引による高齢者の心理、生理機能への作用
- P-2-13
牧尾 幸美 (日本赤十字社 熊本健康管理センター)
人間ドック受診者における座位時間 (不活動時間) の過多が体力低下に及ぼす影響
- P-2-14
村田 潤 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
圧切替型クッション利用による脊髄損傷者の下腿容積変化への効果
- P-2-15
大島 卓馬 (新潟大学大学院)
重炭酸浴継続の効果検証
～睡眠質と基礎体温に着目して～